



この機会に被災地の復興の様子を
体験しませんか？ **Jヴィレッジ発着**

▼震災遺構 浪江町立 請戸小学校

インターハイ男子サッカー競技Jヴィレッジ固定開催記念！

事前申込型

参加費
入場料

無料

昼食は各自負担となります

空気があれば
当日参加できます！

被災地の現状を伝える総合案内人となる

ホープツーリズム ツアー催行！

募集対象者

インターハイ来場者限定

▲東日本大震災・原子力災害伝承館

▲福島県復興祈念公園

▲浅野撫系
(株)フタバスーパーゼロミル

▲日本原子力研究開発機構
櫛葉遠隔技術開発センター

総合案内人
(フィールドパートナー)が
ツアー中、道中と
目的地に関する情報をお届けします。

運行日 2026

7.25 土 ・ **26** 日 ・ **27** 月

各 日 11:30発

定 員 各便40名まで

無料バス運行



運行会社: 株式会社報徳バス

ご案内

- 車内は禁煙、自由席、定時運行いたします。
- 道路状況により発着時間に変更になる場合がございます。
- 大型バス1台での運行となり、正シート45席を越えますと、ご乗車頂けませんので予めご了承ください。
- ご乗車当日、アンケートのご協力をお願いします。
- 現地の説明ガイドが同乗しております。
- 荒天時は安全面を考慮しバスの運行を中止させていただく場合がございますのでご了承ください。
- 申込みが上限に達した場合はお断りさせていただく場合がございますのでご了承ください。

お問い合わせ

ふくしま浜通り・トライアルツアー事務局
(株式会社JTB福島支店)

TEL 024-932-0657 FAX 024-933-6620

申込受付時間: 月～金 9:30～17:30

総合旅行業取扱管理者: 鶴舎 亮 担当: 庄司 祐良

主催: 福島県観光交流局観光交流課

事前申込型についてはこちらよりお申し込みください。



Jヴィレッジ発着 ホープツーリズムツアー運行ルートを紹介

ホープツーリズムとは…

福島県は、世界で類を見ない「複合災害（地震・津波・原子力災害・風評被害）」を経験した唯一の場所。複合災害の教訓等から「持続可能な社会・地域づくりを探究・創造する」福島オンリーワンの新しいスタディーツアープログラムです。

運行日 **2026.7.25^土・27^月**

場所	行程	
Jヴィレッジ	11:30発	出発
① F-BICC	12:10～13:00	昼食50分
② 東日本大震災・原子力災害伝承館	13:00～14:00	見学60分
③ 福島復興祈念公園	通過	車窓見学
④ 震災遺構 浪江町立 請戸小学校	14:10～14:50	見学40分
⑤ 日本原子力研究開発機構 楡葉遠隔技術開発センター	15:30～16:20	見学50分
Jヴィレッジ	16:25頃	到着

運行日 **2026.7.26^日**

場所	行程	
Jヴィレッジ	11:30発	出発
① 道の駅ならは	11:40～12:30	昼食50分
② 東日本大震災・原子力災害伝承館	13:10～14:10	見学60分
③ 福島復興祈念公園	通過	車窓見学
④ 震災遺構 浪江町立 請戸小学校	14:20～15:00	見学40分
⑤ 浅野燃糸	15:10～15:50	見学40分
Jヴィレッジ	16:30頃	到着

Jヴィレッジ



日本サッカー界初のナショナルトレーニングセンター。福島第一原子力発電所事故に伴い、スポーツ施設としては全面閉鎖し、国が管理する原発事故の対応拠点となっていました。2018年にふくしま復興のシンボルとして、すべての人々に開かれた施設として再始動しました。

- アクセス：常磐自動車道 広野ICから車で約5分
- 住所：福島県双葉郡楡葉町山田岡字美シ森8
- お問い合わせ先：Jヴィレッジ TEL0240-26-0111

道の駅ならは



Jヴィレッジの持つ現代的なイメージと浜街道木戸宿の歴史的町並みのイメージをモチーフとし2019年にオープンしました。地域の特産品やお土産を販売提供する「物産館」、名物・マミースイートをはじめとした多様なメニューが自慢の「フードコート」の他、くつろぎを提供する「温泉保養施設」があります。

- アクセス：常磐自動車道 広野ICから車で約10分
- 住所：福島県双葉郡楡葉町山田岡大堤入22-1
- お問い合わせ先：道の駅ならは TEL0240-26-1126

双葉町産業交流センター F-BICC



双葉町産業交流センター「F-BICC」は、人と人、地域と未来をつなぐ交流拠点です。貸会議室やオフィス、フードコート、レストラン、土産物店を備え、地域住民や来訪者、企業関係者が集い、新たな交流や価値創出を育む複合施設として双葉町の復興を支えています。

- アクセス：常磐自動車道 常磐双葉ICから車で約4分
- 住所：福島県双葉郡双葉町大字中野字高田1番地1
- お問い合わせ先：双葉町産業交流センター TEL0240-23-7212

東日本大震災・原子力災害伝承館



東日本大震災と原子力災害について、発災前の地域像や発災当時およびその後の避難生活を示す資料などを約30万点収蔵しており、このうち約300点を常時展示しています。地震、津波、原発事故の被害を伝える実物資料や証言映像に加え、一日4回実施の語り部講話を通じ、未曾有の複合災害に理解を深める事ができます。

- アクセス：常磐自動車道 常磐双葉ICから車で約12分
- 住所：福島県双葉郡双葉町大字中野字高田39
- お問い合わせ先：東日本大震災・原子力災害伝承館 TEL0240-23-4402

福島県復興祈念公園



福島県復興祈念公園は、東日本大震災による犠牲者への追悼と鎮魂や、震災の記憶と教訓の後世への伝承、さらには復興の歩みを国内外に向け発信し続けることを目的に、福島県と国との連携のもと整備した公園です。

- アクセス：常磐自動車道 常磐双葉ICから車で約10分
- 住所：福島県双葉郡 双葉町大字中野地内／浪江町大字両竹地内 外
- お問い合わせ先：福島県復興祈念公園 TEL0240-23-6218

震災遺構 浪江町立 請戸小学校



福島県浪江町は、大地震・大津波・原発事故による甚大な被害を受けました。その中で、請戸地区に唯一残った建物が請戸小学校です。当時、学校にいた全員が無事に避難を果たしました。震災の記憶と教訓を後世に伝える為、2021年より震災遺構として一般公開されています。

- アクセス：常磐自動車道 常磐双葉ICから約25分
- 住所：福島県双葉郡浪江町請戸持平56
- お問い合わせ先：請戸小学校 TEL0240-23-7041

日本原子力研究開発機構 楡葉遠隔技術開発センター



日本原子力研究開発機構楡葉遠隔技術開発センター（NAREC）は、東京電力HD(株)福島第一原子力発電所(1F)の廃炉を推進するために整備した施設です。1F廃炉に向けた技術開発の現場見学や仮想空間に再現した1F建屋内を移動することができるVR体験を行うことが可能です。

- アクセス：常磐自動車道 広野ICから車で約8分
- 住所：福島県双葉郡楡葉町大字山田岡字仲丸1-22
- お問い合わせ先：TEL0240-26-1040

浅野燃糸(株)フタバスーパーゼロミル



津波によって何もかもなくなった双葉町の地に、新たな工業団地が作られ、町民の復興も始まりました。双葉町の復興から次への発展を担う一翼としてフタバスーパーゼロミルを稼働させ、双葉町を代表する糸やタオル製品を日本だけでなく世界に発信しています。

- アクセス：常磐自動車道 常磐双葉ICから車で10分
- 住所：福島県双葉郡双葉町中野館ノ内1-1
- お問い合わせ先：TEL0240-23-7648

お問い合わせ

ふくしま浜通り・トライアルツアー事務局（株式会社JTB福島支店）

TEL 024-932-0657

FAX 024-933-6620

申込受付時間：月～金 9:30～17:30

総合旅行業取扱管理者：鶴倉 亮 担当：庄司 祐良

主催：福島県観光交流局観光交流課